

国際シンポジウム

植民地を移動した 〈在満〉朝鮮人の生活と抗日

～その記憶と痕跡を移民史・オーラルヒストリーでたどる

日時：2016年12月4日(日曜日) 13:00～17:30 (12:30開場)

場所：東京外国語大学 本部管理棟2階大会議室 (入場無料、事前予約不要)

第一報告：孫春日 (延辺大学朝鮮族文化研究中心主任教授)

「〈在満〉朝鮮人の移民史と生活」

コメント：橋本雄一 (東京外国語大学)

第二報告：李光平 (龍井3・13記念事業会会長、前龍井市文化館館長)

「〈在満〉朝鮮人集団移民の生活と抗日闘争の記憶

——延吉県を中心に」

コメント：飯倉江里衣 (東京外国語大学大学院博士後期課程)

総合討論：野本京子 (東京外国語大学)

：鄭栄桓 (明治学院大学)

コーディネーター：中野敏男 (東京外国語大学 名誉教授)

総合司会：澤田ゆかり (東京外国語大学)

中国における朝鮮族の歴史研究と証言記録の最前線からそれぞれ第一人者をお招きし、朝鮮人の移動という観点から「満洲」における民族・階級・ジェンダーの輻輳を考えます。

主催：科学研究費基盤研究(B) 研究プロジェクト「日本／朝鮮・中国東北から見た「満洲」の記憶と痕跡
～輻輳する民族・階級・ジェンダー～」 (研究代表者：東京外国語大学大学院教授 金富子)

共催：東京外国語大学 海外事情研究所

連絡先：manshu_prj@yahoo.co.jp / ifa@tufs.ac.jp